



UMEX 夢っくす ニュース

かわらばん 秋号

夢っくす総会

櫻井 徳治



会計監査の様様



コロナ禍で国際大学内への出入りも制限されて、2月以降は活動ができない状態が続いています。このようなことは発足以来のことで、会員同士や学生との交流もできなく残念に思っていることと思います。

そのような状況の中、10月11日（日）に今年度の総会を大和公民館で開催しました。参加者は7名でしたが、総会は成立したということでご了承願います。総会では昨年度の活動報告と決算、今年度の事業計画と予算について説明し、ご了承頂きました。

昨年度事業の主なポイントは、1月まではほぼ例年通りの活動ができました。特に、要望の多かった英会話教室の開催ができたこと、チュータープログラムも多くのペアで日本語支援を実施、グループや屋サロンを通じ学生との交流が進んだこと、約140名もの学生や家族に着物の着付けを実施したことが挙げられます。昨年度の決算は決算書をご覧ください。例年では、かわらばん春号に会費のお願いをしてきましたが、今年の活動がどれくらいできるか不明なため、今年度の会費は集めませんのでご了承ください。既にお支払い頂いた方もおりますが、来年度に振り替えるようにしたいと考えています。

今年度の事業計画と予算は例年に近いものですが、実施できない状況が続いておりますので、予算額は少なく見積もっています。活動が再開できる状況になりましたら、会費の支払いを皆さんにお願いさせていただきます。詳細は同封の議案書をご参照ください。

夢っくすサロンや大学施設等が利用できるようになりましたら連絡します。以上、総会のご報告と致します。

パシフィックダンス練習会 高橋 和子



9月末、ツバルからの学生ヴァエオさんとバヌアツからの学生のキャロルさんが、夢っくすのメンバーにパシフィックダンスを教えてくれるということで、八色の森のステージに集合しました。

2人は私達全員の為に髪飾りや腰に巻く布等も事前に準備、パソコンも持参し、私達が踊れそうな曲を選曲してくれました。動きは日本の盆踊りのように単純な動作の繰り返しなのですが、手や足の動きの他に腰の動きもあるので、それに慣れてない日本人には至難の業です。幸い公園内には人は殆どいらっしゃいませんでしたが、周りの方からは、さぞ滑稽に見えた

ことと思います。ツバルのプロのダンサーの動画も見せて頂いたのですが、それはそれは妖艶でリズムカル、あれだけの動きを極めるまでには相当な練習量が必要かと思われま。素人の私達の出来栄はともあれ、とても良い汗をかき、そして楽しかったです。今年は例年のようにカルティフェスタが行われるかどうかはわかりませんが、あれば学生と夢っくすの混成メンバーで舞台上に上がったかもしれません（笑）。

まだまだ練習は必要ですが、時々体を動かし、皆で踊ることはとても気分転換になりました。ヴァエオさんやキャロルさんからは踊りだけでなく、知らなかったパシフィックアイランドについても教えてもらい、本当にありがとうございました。冬になる前にもう一回くらい踊りたいですね。



ファリダさんたち
(八海山登山口2合目付近)

マレーシアからのお客さん

櫻井 徳治

1991年秋に「21世紀のための友情計画」という国際協力機構（通称：JICA）のプログラムがあり、マレーシアからの青年たち20名と地元の人達との交流事業が六日町ユースホステルでありました。そこで通訳として同行していたファリダ・モハメッドさん（現在は東京外国語大学でマレー語の先生をしている）と知り合い、その後もメールや東京の自宅に訪問するなど交流が続いていました。

昨年12月にファリダさんから、マレーシアから来日しているファリダさんの友達が雪国を体験したいと電話がありました。そしてファリダさんと友達夫婦と息子4名のホームステイを受けることになりました。

12月14日に越後湯沢駅でファリダさんと友達家族（両親と高校生）を迎えました。平場には雪が無く八海山屏風登山コースの2合目まで行ってやっと雪を体験することができました。雪の上を歩いたり、雪玉を作ったりで雪の感触を実感していました。持参したタッパに雪を入れて持ってきましたが、家に着いたときは水になっていました。昼食後、毘沙門堂を案内し、国際大学に行きました。そこでマレーシアからの留学生と会うことができ一旦家で夕食を取り、再度大学に行って留学生と食堂でお話が続きました。

翌日は、塩沢の牧之通りと牧之記念館を見学して越後湯沢駅に向かいました。限られた時間の滞在で雪が少なく、本当の雪国体験はできませんでしたが、満足されたようです。次回はまた冬に来てスキーに挑戦したいと言って東京に帰って行きました。

タイからのお客さん

櫻井 徳治

4年前に卒業したタイからの留学生「プロイさん」が正月明けに日本に来ることになり、我が家に2泊することになりました。プロイさんは国際大学に入学した年に新潟県国際交流協会のホームステイ事業で我が家にホームステイした学生です。

家では家庭料理を提供しましたが、特にポテトサラダが気に入ったようです。その後も我が家にホームステイやビジットで来る事が多く、リンゴ狩りや富士山などを案内しました。卒業式には、母、姉妹や従弟が来日し一緒に卒業をお祝いし、その時は普光寺や牧之通りなどを案内しました。

2年前に家内とタイに行ったとき、自由行動の日にプロイさんの家族にバンコックを案内して頂き、夕食には遠くの親族も集まって大勢で歓迎してくれました。

昨年、年明けに日本に行くので、我が家で2泊したいと連絡を受けました。今回の来日は、国際大学の後輩や日本語を教えてくれた方に会うなど、東京や新潟でいろんな所を回る忙しいスケジュールを組んでいました。清津峡や松代の大地の芸術祭の作品を見たり、へぎ蕎麦を味わったりで懐かしい魚沼を案内しました。4月には家族で北日本を訪ねる旅行を予定していましたが、新型コロナウイルスのためにツアーがキャンセルされ、来日できませんでした。

帰国されても誕生日や母の日などにうれしいメール送ってくれるなど、今も交流が続いて続いています。



プロイさん（清津峡にて）

ホームページもご覧ください
<https://www.umex.ne.jp/>

第114号 秋号

浦佐の山ハイキング 田中 美智子

7月初めに高橋会長から、国際大学の学生さんが浦佐の山に登りたいと言っているので案内してもらえないかとの連絡がありました。女子学生3人という事なので、そのくらいの人数なら引き受けました。西山三十三番観音巡りは、川を遡って行き山道を下りてくるコースですが、梅雨の最中ということもあり、川を行くのはやめて、山道を登ってまた下りてくることにしました。

前日の晩、学生を取りまとめているリサさんから連絡が来て、参加者は12名ですとのこと。幸いにも櫻井さんも同行してくれるので大丈夫だろうと待ち合わせの浦佐駅へ行くと、何と大人12人プラス子供4人。ソロソロと毘沙



門堂へ歩きます。

漆の木が多いので危険だから触らないよう説明して、観音様を拝みながら登って行きます。途中2、3回小休止して歩く事1時間あまり、山頂に到着です。晴れていれば越後三山が目前で、上越国境の山々も綺麗に見えるのに全て雲の中。残念でした。お菓子を食べて、また同じ道を下りてきました。

大人たちはもの足りなかったでしょうし、子供たちは疲れ切った様子でしたが、皆さん楽しかったと言ってくれました。何はともあれ、無事に下山しました。



六万騎山ハイキング

高橋 和子



7月某日、国際大学の2年生でベトナム出身のリサさんから『六万騎山に登りたいのですが、地元の方に案内して頂きたい』と連絡があり、夢っくすの櫻井副会長、西野さん、志太さん、南魚沼市役所商工観光課のDavidさん他地元の方と学生総勢13名で六万騎山にハイキングに行ってきました。

登り口にある神社の説明から始まり、途中で地域の説明などをしながらゆっくりと登りました。久しぶりのハイキングに心が折れそうになりましたが、無事山頂に到着!! 山頂からの景

色に皆でたくさんの写真を撮りました。11時には下山し、休日の朝を有意義に過ごすことが出来ました。

現在もコロナの影響で、出かけることに躊躇する方も多いと思いますが、こうして、近くの山に登り、深く深呼吸することがこんなに幸せを感じるのだと改めて思いました。そして、今年の夏、登山に目覚めたりリサさんたちは、坂戸山、巻機山、駒ヶ岳と毎週登山に行かれたそうです。このコロナ禍にこの地に足止めとなった学生の皆さんが、南魚沼市に自然を満喫されたことを嬉しく思いました。私も来年は体力をつけて、もう少し高い山へチャレンジできるように頑張ります!

学生からのメッセージ



My stay in Japan became more exciting by meeting with UMEX members. That was a unique opportunity for me to learn in depth Japanese culture, language, social life, food... It was a good platform for me as well to explain my country and Africa to local Japanese people. Thanks to UMEX I came to meet my best buddy in Japan, Naku-Chan, a little boy of four years. He made my journey! I will miss him a lot. Also, I want to pay a special tribute to the International University of Japan which made that connection with UMEX possible. If IUJ provides school lessons, UMEX helps to complete the whole picture of the Japanese society, to do so, we active local people who are always listening and also learning from foreign students.

たのしかった、ありがとうございます、さよなら（シェイクナ サンガレ）

UMEX club is not just a club for me, its a group a lovely friends. All the members are so supportive and lovely that you will not get homesick. They made my stay at IUJ memorable. We had severa Japanese language and cultural classesa. We went to visit so many local places which was impossible for me to go on my own. I have always received lovely presents for them. Even, when I was looking for some part time job, they helped me. Also, when I wanted to have a customized japa- neese lesson for interview practice, UMEX assigned me a personal teacher called Homma San. They seflessly do many things for students and their spouses, kids. Yumi Kojima San is always so youthful. Satou san taught me Japanese in the begining, I will never forget. Then,Eiko treated us with wonderful mochi under kotatsu before kamakura festival. Then wonderful greetings by Yuichi Imai San. One day wr exchanged our traditional dress and I wore kimono , they wore sari. And so many wonderful memmories that I cannot express in words. And finally, Kazuko San , she is like my japanese mom. Our relationship is beyond IUJ. She came to meet me when I was strug- gling in Tokyo for internship and even when I moved to Tokyo permanently she again came to meet me. I am always grateful to Kazuko San and Umex members. (メハナス)



2020年修了生のロビンでございます。浦佐で住んでいた2年間のお世話になっております。UMEXのBBQと言語交換と文化イベントなど色々活動で地元の人々に会いできました。今年、コロナウイルスのせいでよく会わなかったけど私たちの卒業式にUMEXのメンバー皆さんが訪れてとても感謝しました。IUJの留学生のためにUMEXがしてくれたことに本当にありがたいです。今後、UMEXのメンバー皆さんのご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。(ロビン)

学生さんから夢つくすにメッセージが届いたので掲載します。

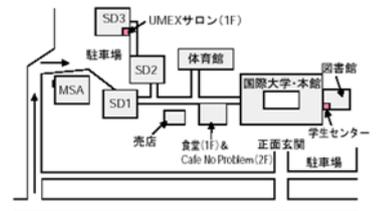


うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



〒949-6609
新潟県南魚沼市八幡35-7
うおぬま国際交流協会（夢つくす）事務局
夢つくすサロン（国際大学第3学生寮1階）
TEL/FAX: 025-779-1520
E-Mail: office@umex.ne.jp
URL: <https://www.umex.ne.jp/>



入会方法

入会の申込書は夢つくすのホームページから入手してください。現在、申込書はFAXでの受け取りはできませんので、右記の住所まで郵送をお願いします。会費とその振り込み先は以下となっておりますが、入金については行ってよいか事前にお問い合わせください。

年会費

個人会員：3,000円

家族会員：1,500円

団体会員：1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会

担当者連絡先

高橋（会長、担当：サロン、多言語など）：070-5083-3123

櫻井（副会長、担当：イベントなど）：080-6608-4830

森山（担当：広報）：090-6945-9402

角屋（担当：キッズ）：090-8773-0329

【編集後記】

国際大学では新学期は始まっていますが、来日できない新入生も多く、授業は主にハイブリッド型（オンラインと教室での同時進行）で行われています。皆さんのこのコロナ禍で如何お過ごしでしょうか？(toshi)